

百十四銀行がめざすビジネスモデル(中期経営計画)

地域金融機関にとって厳しい環境が続く中、当行の組織や人材力及び営業ネットワークなどを最大限活用して地域価値の創造やお客さまの価値向上に全力を注いでおります。お客さま・地域の成長に貢献し、それを自らの競争力や安定的な業績につなげる「地域経済における好循環」を実現することが、当行がめざすビジネスモデルです。

中期経営計画

チャレンジ・バリュー・プラス (2017年4月～2020年3月)

めざすべき姿

金融の垣根を越えて地域の「**ありたい**」にとことん関わり、地域と一緒に成長する

営業力の強化

3つのチャレンジ

お客さま・地域と当行が共に成長する好循環の実現

1 地域社会

地域価値創造に**チャレンジ**

2 法人のお客さま

事業価値向上に**チャレンジ**

3 個人のお客さま

生涯価値向上に**チャレンジ**

市場運用の強化

運用体制整備

運用強化

事業基盤の強化

5つのプラス

● チャンネル改革 ● 生産性向上 ● 組織力強化 ● リスク管理高度化 ● アライアンス

経営基盤の充実

◆ ICT戦略 ◆ 業務継続計画(マスタープラン) ◆ ガバナンス ◆ コンプライアンス ◆ 戦略的CSR

百十四銀行の強み

- 瀬戸内圏及び四国の成長性
- 地元香川県での圧倒的シェア
- 女性の活躍
- 歴史ある広域店舗網
- 充実した本部サポート体制

地域経済(香川県)の現状

- 預貯金残高(1世帯あたり) 16,498千円 : **全国3位**
- 有効求人倍率 1.75倍 : **全国9位**
- 産業構造

中小企業を主体とした特定の業種に偏らないバランスの取れた産業構造。地域経済の強力な牽引役となる中核産業や企業群が少ないが、経済環境の変化に強いという強みがある。



TOPICS

県内観光客過去3位の 高水準

2018年に香川県を訪れた観光客数は、941万人と6年連続で900万人の大台を超え、過去3番目の高水準でした。また、高松空港の国内・国際線定期路線の利用者数は、206万2,920人と初めて200万人の大台を突破しました。